

2.1 2014 年度 ODA 評価の概要

第2章では、主に2014年度に外務省、国内省庁、JICA等がそれぞれ実施したODA評価の概要を紹介します。

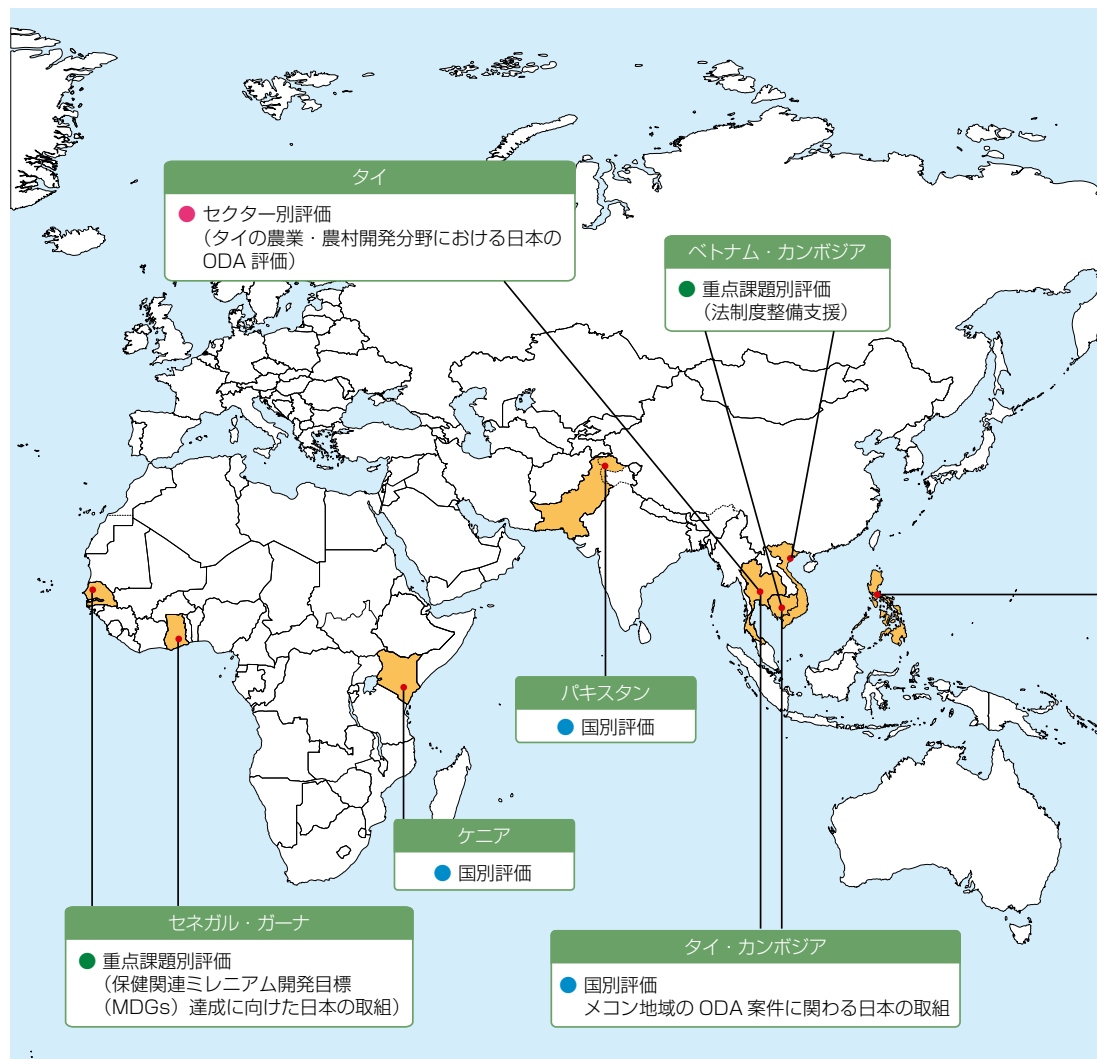
外務省による評価

外務省は2014年度に、外部の評価者に委託して行う第三者評価を9件実施しました。本章では、これらの評価の概要を掲載するとともに、評価から得られた提言に対する対応策の例(2015年7月に策定)も記載しました。

これらの評価結果からは、「日本の対ケニア援助は、ほぼ全ての重点分野において大きな効果が確認されたことから、日本の対ケニア援助は大きな効果があった」(ケニア国別評価)や、「法制度整備支援は日本の外交に大いに貢献している。特に、密接な人的交流を特徴とするこの支援を通じて多くの知日派、親日派が行政の中枢人材、及び経済界に輩出されている面は高く評価できる」(法制度整備支援の評価)など、日本の援助の有効性や外交上の効果が認められたことが示されました。他方で、「限られた人員でプロジェクトを実施しているため、地域における広報活動に十分に手が回っていないことなどが確認され、よりよいスキーム運営のために一部改善の余地がある」(草の根技術協力の評価)など、改善すべき点も指摘されました。それぞれの評価報告書の全文は、外務省のODAホームページで御覧いただけます。

また、外務省が独自に行った無償資金協力案件の事後状況調査1件と、政策評価法に基づいて行った自己評価案件についても紹介します。

- 国別評価 (3件) : メコン地域のODA案件に関わる日本の取組、パキスタン、ケニア
- 重点課題別評価 (3件) : 法制度整備支援、緊急事態における人道支援、保健関連ミレニアム開発目標(MDGs)達成に向けた日本の取組
- スキーム別評価 (1件) : 相対的に所得水準の高い国に対する無償資金協力
- その他の評価 (2件) : 草の根技術協力、過去のODA評価案件(2003～2013年度)のレビュー



JICA による事業評価

JICA は、個別のプロジェクトについてプロジェクト評価を行うとともに、複数のプロジェクトを取り上げて総合的・横断的に評価・分析を行うテーマ別の評価も実施しています。2013年度は、外部の評価者による事後評価を76件、JICAの在外事務所等が評価者となる事後評価を50件、テーマ別評価を3件実施しました。本章では、これらJICAが実施する事業評価の概要を紹介しています。個別評価結果の詳細は、JICAのホームページで御覧いただけます。

国内各省庁による評価

国内各省庁はODA関連の政策等を、主に政策評価法に基づいて自己評価しています。本章では、2014年度に各省庁が実施した評価案件についてリストを掲載するとともに、この一部について、概要を掲載しています。

被援助国政府・機関等による評価

外務省は2014年度にタイの大学准教授に対し、日本の援助プログラムに関する評価を依頼しました。本章ではこの評価の概要を掲載しています。

● セクター別評価：タイの農業・農村開発分野における日本のODA評価

